

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	滋賀県・彦根市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	彦根の歴史的風致を活かした人材育成とまちづくり		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>彦根市総合計画（平成23年策定）や彦根市歴史的風致維持向上計画（平成20年策定・平成21年1月国の認定）を踏まえ、彦根の歴史・文化の次世代への継承・発展や、市内に残る文化財を活用して地域活性化を推進するため、以下の取組を実施する。また、計画期間中、以下の取組を通じて、行政とNPO、まちづくりの会などによる連携・協力体制の確立を目指す。</p> <p>1. 地域の文化遺産情報発信、人材育成事業</p> <p>(1) 文化遺産に関する総合的な情報発信事業（平成25年度）</p> <p>(2) 古文書の解説を目指す人材育成事業（平成25年度～平成33年度）</p> <p>(3) 「ぶらひこねマップ」制作事業（平成27年度）</p> <p>(4) 庭園管理ボランティア育成事業（平成27年度～平成28年度）</p> <p>(5) 足軽組屋敷解説板設置事業（平成29年度～平成29年度）</p> <p>2. 地域の文化遺産普及啓発事業</p> <p>(1) 文化財建造物および庭園を活用した普及啓発事業（平成28年度～平成28年度）</p> <p>(2) 小江戸ひこね町屋プロモーション事業（平成26年度～平成27年度）</p> <p>(3) 市指定文化財 旧彦根藩足軽組屋敷建造物公開活用事業（平成25年度～平成33年度）</p> <p>(4) 彦根藩「湖東焼」の普及啓発事業（平成26年度～平成28年度）</p> <p>(5) 歴史遺産を活用した歴史学習講座事業「歴史手習塾」（平成27年度～平成33年度）</p> <p>(6) 地域の文化遺産普及促進事業（地域の歴史話を題材とした落語会）（平成27年度～平成27年度）</p> <p>(7) 庭園管理パートナー等育成事業（平成29年度～平成33年度）</p> <p>(8) 文化遺産の庭園を活用した庭園管理実践講座（平成29年度～平成33年度）</p> <p>(9) 名勝庭園での体験ワークショップの開催（平成29年度～平成33年度）</p> <p>(10) 文化遺産を活用した普及啓発事業（辻番所サロン）（平成29年度～平成33年度）</p> <p>(11) 井伊直弼ゆかりの茶の湯茶碗制作教室（平成29年度～平成33年度）</p> <p>(12) 文化財建造物を活用した普及啓発事業（歴史資料・古文書公開）（平成25年度～平成33年度）</p> <p>(13) 彦根能楽振興事業～能楽ことはじめ～（平成29年度～平成33年度）</p> <p>3. 地域の文化遺産継承事業</p> <p>(1) 文化財建造物の庭園整備と技術の伝承（平成26年度～平成26年度）</p> <p>(2) 歴史的建造物の活用促進事業（平成25年度～平成27年度）</p> <p>(3) ものづくり創出プロジェクト事業（平成26年度～平成27年度）</p> <p>(4) 文化遺産の庭園を活用した庭園整備実践講座の開講（平成26年度～平成28年度）</p> <p>4. 地域の文化遺産記録作成、調査研究事業</p> <p>(1) 彦根藩窯「湖東焼」の調査事業（平成26年度～平成27年度）</p> <p>(2) 地域住民との協働による文化遺産を活かしたまちづくりの展開事業（平成26年度～平成33年度）</p> <p>(3) 文化遺産を活かしたまちづくり構想策定事業（平成27年度～平成29年度）</p> <p>(4) 町屋活用による文化創発事業（平成28年度～平成30年度）</p> <p>5. その他</p> <p>(1) 足軽組屋敷が存する地域の総合的な防災対策の検討（平成29年度～平成30年度）</p>			
6 実施体制			
<p>本事業について、彦根歴史的風致活用実行委員会の企画した計画に基づき、彦根市の策定している彦根市総合計画および彦根市歴史的風致維持向上計画との調整や事業の指導等を彦根市が行う。</p> <p>主な担当課と役割</p> <p>教育委員会文化財課 : 文化財建造物の活用に関する指導等</p> <p>彦根城博物館学芸史料課 : 古文書に関する取扱等の指導等</p> <p>事業実施は、次の団体により実施する。</p> <p>彦根市歴史的風致活用実行委員会（委員長：谷口 徹）</p> <p>構成団体（NPO法人彦根景観フォーラム、彦根辻番所の会、彦根まちかど資料館、庭師集団いろは組、NPO法人湖東焼を育てる会、小江戸ひこね町屋活用コンソーシアム、まち遺産ネットひこね、彦根市教育委員会文化財部文化財課）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 22,940 千円	平成29年度申請額： 3,315 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>彦根歴史的風致活用実行委員会により実施される事業の取組により、市民が地域の歴史文化遺産に対する関心や意識が向上し、今後更に市民活動の輪が広がることにより地域の歴史文化遺産の保存と、次世代への継承とともに、地域の活性化が期待できる。また、市民団体等と行政による連携・協力体制を構築することにより市内に残る未指定文化財を発掘するとともに、「市総合計画」において市指定文化財件数目標値を89件としている指定件数の増加に寄与することができる。さらに、ふるさと納税において自分が応援したいと思う6つの事業の内、彦根城をはじめとする歴史文化遺産の継承に関する事業に寄付される方の増加を見込むことができる。</p>			

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）

事業概要：

事業概要：

事業概要：

11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

「歴史的風致向上計画」について平成21年1月に認定済み。なお、計画期間は、平成20年度～平成29年度。計画期間終了後は、引き続き計画期間延長または新規計画の認定を予定している。

12 担当部局

地方公共団体
担当部局課

彦根市教育委員会文化財部文化財課

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流						
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産を活用した取組数（本事業の取組を除く）（具体的な指標は次のとおり）						
具体的な指標 1 :	歴史的建造物を活用したイベント数			関連事業:			
目標値 1 :	平成 28 年度		3 件	⇒	平成 33 年度		6 件
設定根拠 1 :	平成28年度までに開催されている3件に対し、2倍の6件を設定						
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
件	件	件	件	件	件		
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立						
評価指標区分 2 :	その他（具体的な指標は次のとおり）						
具体的な指標 2 :	歴史文化遺産の継承に応援する方のふるさと納税額			関連事業:			
目標値 2 :	平成 28 年度		32 %	⇒	平成 33 年度		34 %
設定根拠 2 :	平成28年度までの毎年度平均伸び率4.0%に対し、1.5倍の6.0%を設定						
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
%	%	%	%	%	%		
目標区分 3 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化						
評価指標区分 3 :	地域の文化遺産を活用した取組数（本事業の取組を除く）（具体的な指標は次のとおり）						
具体的な指標 3 :	出前講座の開催数			関連事業:			
目標値 3 :	平成 28 年度		35 %	⇒	平成 33 年度		39 %
設定根拠 3 :	平成28年度までの毎年度開催回数平均伸び率7.0%に対し、1.5倍の11.0%を設定						
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
%	%	%	%	%	%		

事業④：	文化遺産を活用した普及啓発事業（辻番所サロン）	実施団体：	彦根辻番所の会、NPO法人彦根景観フォーラム				
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	市指定文化財 足軽組屋敷旧磯島家住宅（辻番所）にて、地域の歴史を学ぶサロン（辻番所サロン）を6回開催する。城下町彦根にまつわる様々な歴史をテーマに毎回講師を依頼し実施する。平成25年度より継続して開催しており、リピーターも定着し、参加者同士の交流も生まれてきた。						
評価指標区分：	・その他			（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：	辻番所サロンへの新規入会者数						
目標値：	平成 28 年度		30 名	⇒	平成 33 年度		50 名
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
名	名	名	名	名	名		
事業⑤：	井伊直弼ゆかりの茶の湯茶碗制作教室	実施団体：	NPO法人 湖東焼を育てる会				
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	平成29年度は、井伊直弼が自作した茶の湯茶碗をモデルに「茶の湯茶碗制作教室」を開催する。この教室の特色は、まず井伊直弼の生涯を学ぶ講演会を開催し、次いで茶の湯茶碗制作に必要な「作陶」→「素焼」→「釉掛」→「本焼」に至るすべての工程を体験的に学んでいただく点にあり、本焼では本格的な登り窯を用いて日常では経験できない1,000度を超える炎の世界を体感していただく。そして最後には、完成した自作茶碗を用いて、井伊直弼が生み出した石州流一派の一会派による茶会に参席し、一会派の指導によりお点前を披露していただく予定である。						
評価指標区分：	・その他			（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：	NPO法人湖東焼を育てる会の会員数						
目標値：	平成 28 年度		48 名	⇒	平成 33 年度		60 名
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
名	名	名	名	名	名		
事業⑥：	歴史手習塾	実施団体：	NPO法人ひこね文化デザインフォーラム				
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	平成29年度は、彦根城築城から410年を向かえる。また、彦根の地は戦国期から江戸・幕末期にかけて日本史を動かすような出来事や人物を輩出している。彦根の地に刻まれた固有の歴史と人物を掘り起こし、地域資源として活用する「ひこね歴史手習塾セミナー」を開催する。 1) ひこね歴史手習塾セミナー24（佐和山城から彦根城へ） 2) ひこね歴史手習塾セミナー25（江戸時代の彦根人～幕末期の彦根藩～）						
評価指標区分：	・その他			（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：	フェイスブックで情報を発信し、「いいね」の数をカウントする。						
目標値：	平成 29 年度		100 回	⇒	平成 33 年度		500 回
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
回	回	回	回	回	回		

事業⑦：	彦根能楽振興事業～能楽ことはじめ～	実施団体：	NPO法人ひこね文化デザインフォーラム			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	徳川譜代筆頭井伊家が治めた彦根藩には多くの能楽に関する史料が残されており、能舞台も復元されている。また、近江猿樂が発祥した地と近く、滋賀県は能楽に縁の深い土地と言える。地域が有している文化財（能楽に関する史料・能舞台）を地域に縁の深い伝統芸能 能楽を通じて紹介する。実施形態は、講座（演目に縁のある場所の紹介、彦根城博物館収蔵品の解説）・博物館収蔵品見学と能舞台での能楽鑑賞とする。能楽演目は近江に関連し、日本遺産「琵琶湖とその水辺景観」に関連して日本遺産の普及啓発も兼ねる。初年度となる29年度は、基礎的な学習・鑑賞をしていただく機会とし、能楽と井伊家の歴史に関する講座と展示鑑賞の後、能楽「竹生島」を鑑賞する。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	フェイスブックで情報を発信し「いいね」の数をカウントする。					
目標値：	平成 29 年度 100 回		⇒		平成 33 年度 500 回	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
回	回	回	回	回	回	
事業⑧：	町屋活用による文化創発事業	実施団体：	NPO法人ひこね文化デザインフォーラム			
事業区分：	調査研究	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 30 年度			
事業概要：	旧城下町エリアの建物調査を行い、そのデータをもとに、まちなみ景観の修景等の指針、歴史的景観要素の希薄な地域での好ましい生活環境の具体的なイメージ、具体的な物件を利活用した事業化案を作成する。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	データ結果・報告書					
目標値：	平成 29 年度		⇒		平成 33 年度	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
事業⑨：	足軽組屋敷が存する地域の総合的な防災対策の検討	実施団体：	彦根辻番所の会、NPO法人彦根景観フォーラム			
事業区分：	その他	事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	江戸期の足軽組屋敷が多数存在する彦根市片橋地区は、狭小路地で構成されているため防災上の弱点を持っている。住民の安全の確保と文化財の保全のためには、路地の安全性確保が課題となっている。しかし単なる道路拡幅では歴史的な路地のまち並みを失う恐れがあり、路地を活かした防災対策が必要である。本事業では、地域住民（自治会の自主防災会）と行政との協働により総合的な防災対策を、下記のように検討する。 ■足軽組屋敷の存する狭小路地の安全性確保の検討 ①路地防災に関する研究会（講師：立命館大学歴史都市防災研究所所長 大窪健之教授） ②地域住民による路地の現況調査（幅員、電柱等障害物、空地、危険なブロック塀など） ③調査結果をもとに、地域住民による検討ワークショップを実施し、路地や防災上有効な空地などの改善案を話し合う。					

評価指標区分：	その他					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標：	当該検討会への地域住民参加数					
目標値：	平成 28 年度		20 名	⇒	平成 33 年度 40 名	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
名	名	名	名	名	名	
事業⑩：	市指定文化財足軽組屋敷建造物公開活用事業			実施団体：	彦根辻番所の会、NPO法人彦根景観フォーラム	
事業区分：	普及啓発			事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度	
事業概要：	市指定文化財である足軽組屋敷建造物（5棟）を一斉公開し、足軽の暮らしや風情を実感してもらおう。その建物の多くは空き家となっており普段活用されていないが、公開イベントでは各建物で歴史展示などの催しを実施し、活用を行う。					
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標：	空き家への入居者数・借家者数					
目標値：	平成 28 年度		3 名	⇒	平成 33 年度 6 名	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
名	名	名	名	名	名	